

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ディスオーダー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ディスオーダー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

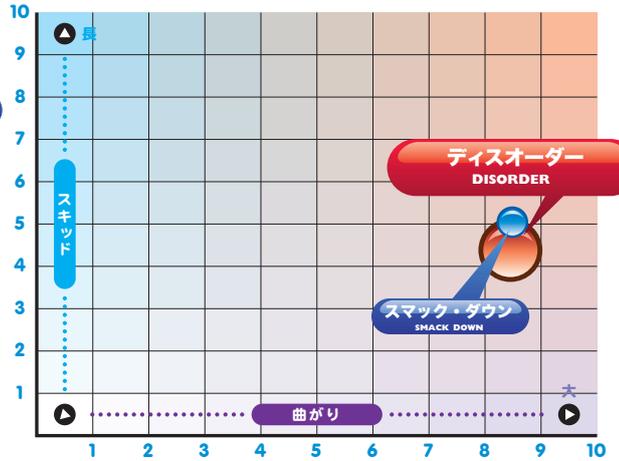
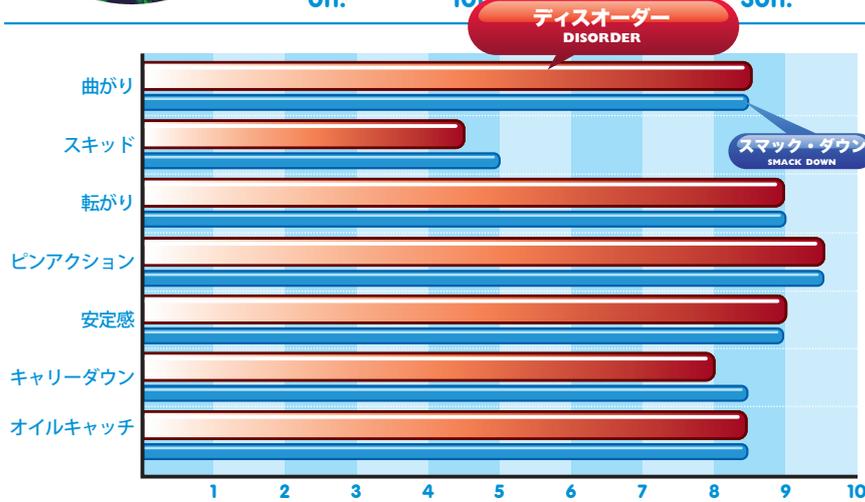
比較対照ボール：スマック・ダウン

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

このDISORDERに使用されているカバーストックは、Bendカバーストックの2大トップパフォーマンスであるBend-It Pearlカバーストックの”Omen”とBend-It Solidカバーストックの”Oath”、双方のカバーストックを掛け合わせたBend-It Hybridで、MP(ミッドプライス)領域ながらHIパフォーマンス領域にも届くHISペックで、リサージェンスコアとコラボレーションさせることで、あの当時のパフォーマンスを思い起こす力強いキャッチを与えてくれます。

リサージェンス発売当時と比べるとケミカルチューンが進んだことで、物理的フリクションを担う最終仕上げであるボックスフィニッシュを粗めにしなくても相応のキャッチが見込めるようになった恩恵は曇らせ過ぎで直進力を失う結果を 방지、バックエンドでも動きの停滞(ロス)を少なくさせられるようになったことは絶大で、一昔前と比べ曇っていてもメリハリを感じるリアクションを感じられるようになったことは、本来カバーストックが持っているパフォーマンスの”オイル”に対する強さと”メリハリ感のある動き”を同時に1ランク上げられるようになりました。このDISORDERも同様で、噛み過ぎないけれどもオイルをしっかり掴み、曲がり終わらずにピンを叩いてくれるイメージは私の中では信頼性は高く、やや薄めのピンヒットでのミキシング能力の高いアクションなどを踏まえると、価格を超える性能をこのDISORDERで感じることができるとは思っています。低く設定されたRGとミディアムクラスのディファレンシャルなのでボールは良く転がりますし、Bend-It Hybridのパフォーマンス領域は使用できるボウラー、対応できるコンディションの範囲が広く、表面加工を変える事でさらにキャッチアップも簡単に望めます。この価格帯を超えるパフォーマンスは貴方にとって無くてはならないボールとなるでしょう。

特記事項

あの時代を彷彿させたリサージェンスが現代のケミカルで生まれ変わり、使用できるボウラー、対応コンディションの幅が格段にアップしました。価格帯を超えるパフォーマンスを是非お試しください。